

【学年】 5 年	【教科・単元名など】 家庭科「身の回りを気持ちよくしよう」
【実践内容】 ～身の回りのよごれを調べてみよう・ クリーン作戦を立て、実行しよう～ ○題材の目標 ・清掃に関心を持ち、場所や汚れに応じた掃除の仕方を調べたり、自分の生活に生かしたりできるようにする。 ・汚れや材質に応じた掃除の仕方を考えたり、工夫したりできるようにする。 ・汚れや材質に応じて清掃用具や洗剤を適切に使い、掃除ができるようにする。 ・よごれの原因や清掃の必要性、汚れや材質に応じた掃除の仕方が理解できるようにする。 ○学習の流れ ・身の回り（教室周辺）の汚れ調べを行い、清掃に関心を持つ。 どこに・どんな汚れ → どうしたらいい？ → きれいにしたい ・学校のクリーン作戦を立て、実践する。 きれいになった 気持ちいいね → 家庭でも実践してみよう ・家庭でのクリーン作戦を立て、実践する。 実践報告をしよう 【知的好奇心について】 掃除は学校でほぼ毎日行っているが、どちらかというと決められているから掃除をしている児童が多いと考えた。汚れがあるからきれいにするために掃除をする、という目的意識をはっきりさせたいと考えた。また、どこにどんな汚れがあるかがはっきりすれば、どんな取り除き方をすればいいかという知的好奇心が高まると考えた。 【子どもの様子・反省】 身の回りの汚れ調べは、セロテープも使って細かく調べた。そうすると、埃以外にも、髪の毛、土や砂、消しゴムのかすなど、さまざまなものが汚れの原因であることが分かった。思ったよりもいろいろな、かなりたくさんの汚れがあることに気づいた。汚れを目の当たりにし、きれいにしたいという意欲を持つことができた。 教室周辺できれいにしたい場所を選び、場所別グループを作ってクリーン作戦を立て実践した。それぞれにあった道具、たとえばオープンスペースには粘着テープのコロコロやガムテープ、窓のレールには割り箸の先にティッシュをつけた物等を用意して掃除した。普段使っている箒や雑巾以外の工夫を知ることができた。掃除をして、明らかにきれいになった実感を持った。時間が足りなくて「もっとやりたい」という子もいた。 次は家庭での実践。家庭では掃除する場所がさらに広がり、掃除の仕方も多様になる。自分の部屋だけでなく、お風呂やトイレ、玄関など、それぞれの場所にあった方法で行うことができた様子だった。 今後も目的意識をはっきりさせて学習を進めていきたい。また、1 回の実践で終わらず、できるだけ続けていかれればいいと思っている。	